

# AI新時代：48時間で激変した「自律型エージェント」覇権争いの全貌

概念の転換：AIは「ツール」から「エージェント」へ

AI=ツール



人間が指示出し。AIは助手。

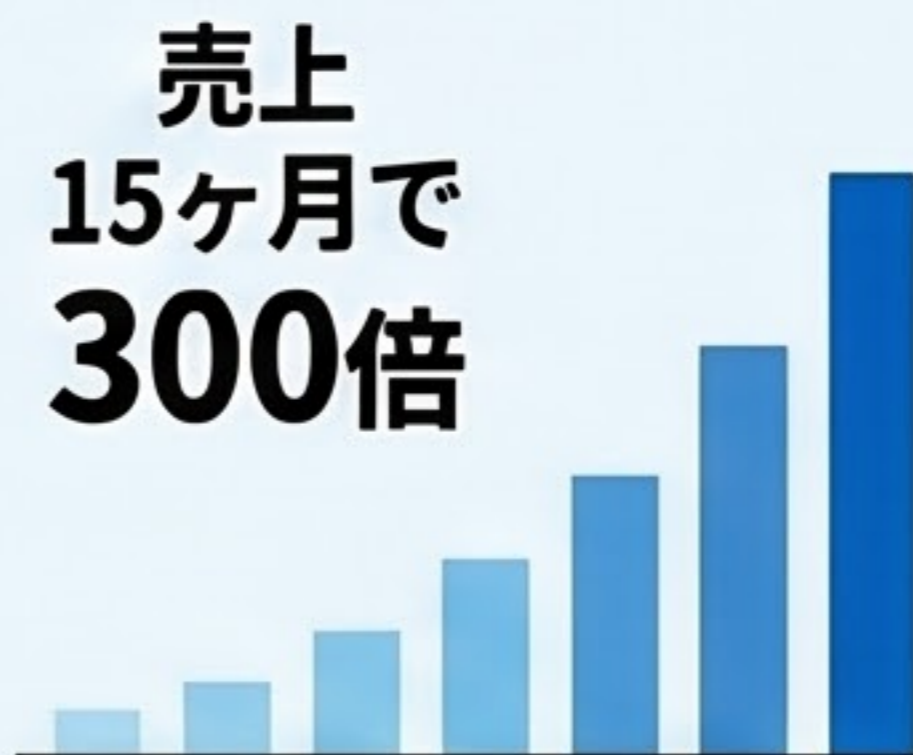
AI=エージェント



目標を与え、AIが自ら考え並列実行。

生産性  
10倍~100倍  
UP

自律的に判断し行動する時代。



Anthropic社のエンジニア  
業務での導入事例。

具体的な業務活用



経営管理から定型・非定型業務まで自律的に進行。

## 48時間の激震：ビッグテック3社の同時発表

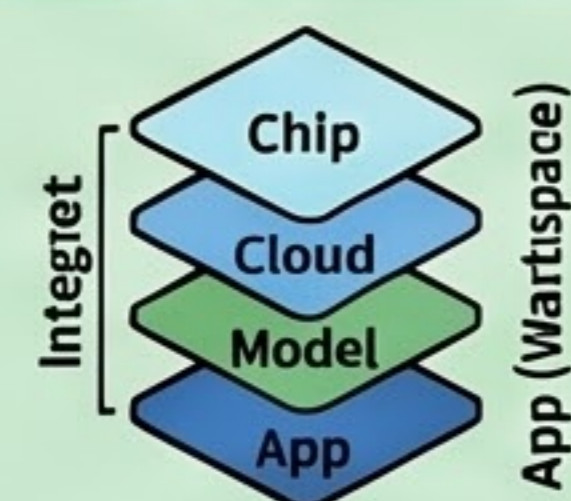
Microsoft (4月21日)



Agent 365

あらゆるエージェントを監視・統制する「コントロールプレーン」。他社製も一元管理・保護する基盤。

Google (4月22日)



Agent Gateway

チップからクラウド、アプリまで垂直統合。200以上のモデルを利用可能にし、暗号化IDで一元管理。

OpenAI (4月22日)



Workspace Agents

チーム・権限準化での共有と通用に特化。主要ビジネスワール10種以上と連携し、自律的に業務運行。

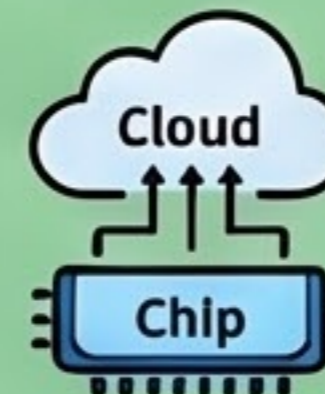
## 5大プレイヤーの戦略比較



Microsoft

Agent 365

エンタープライズへの深い運遇。他社製エージェントも管理可能。



Google

Agent Gateway

半導体、クラウド、モデル、アプリ(Workspace)の完全な垂直統合。



OpenAI

Workspace Agents

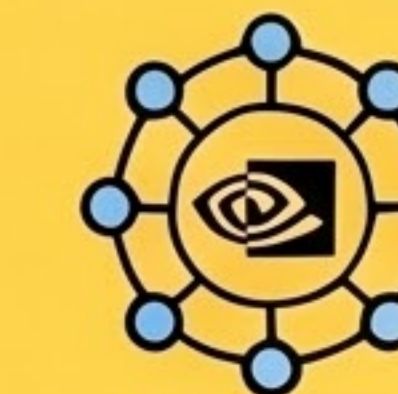
ChatGPTの基盤ブランド力と圧倒的なユーザー基盤。即座に利用可能。



Anthropic

Claude Code / Co-work

デスクトップやローカルファイルの操作、スマホからの操作に換み。



NVIDIA

NIM Agent Blueprints

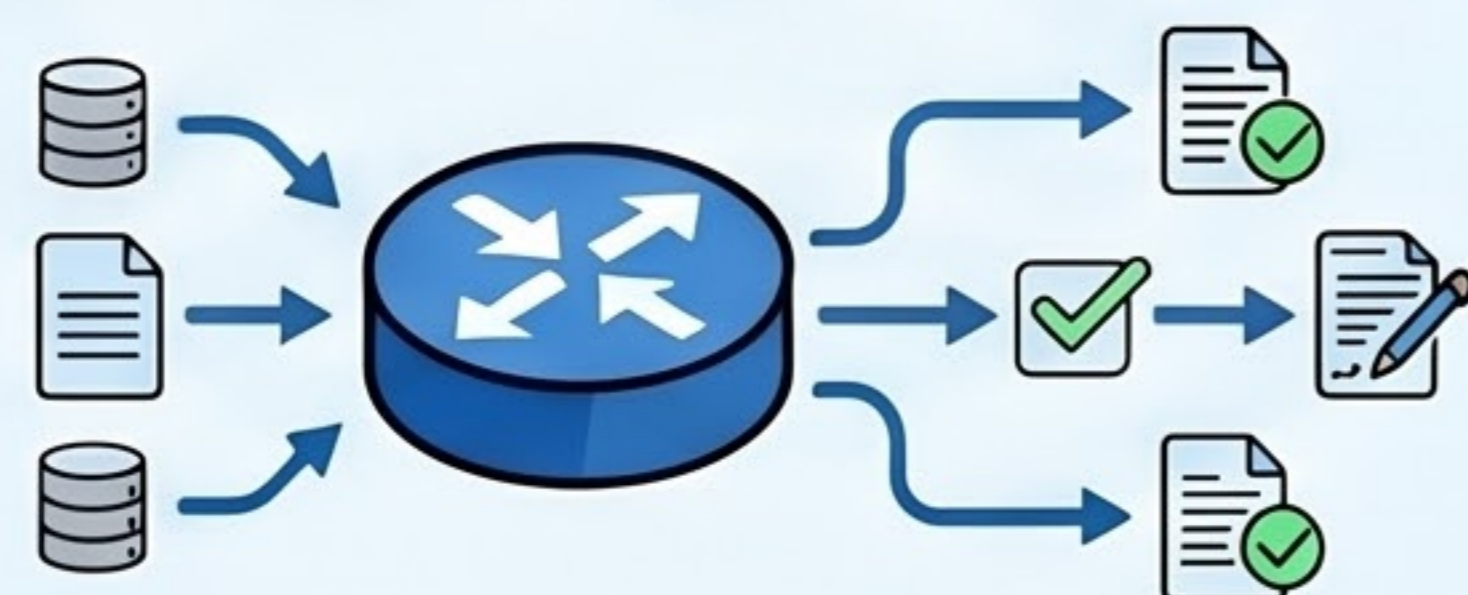
オープン戦略。モデルやハードに依存せず、エコシステム全体を支援。

## 覇権の鍵「コントロールプレーン」と企業の対策

データを持つ者



ルートを決める者 (コントロールプレーン)

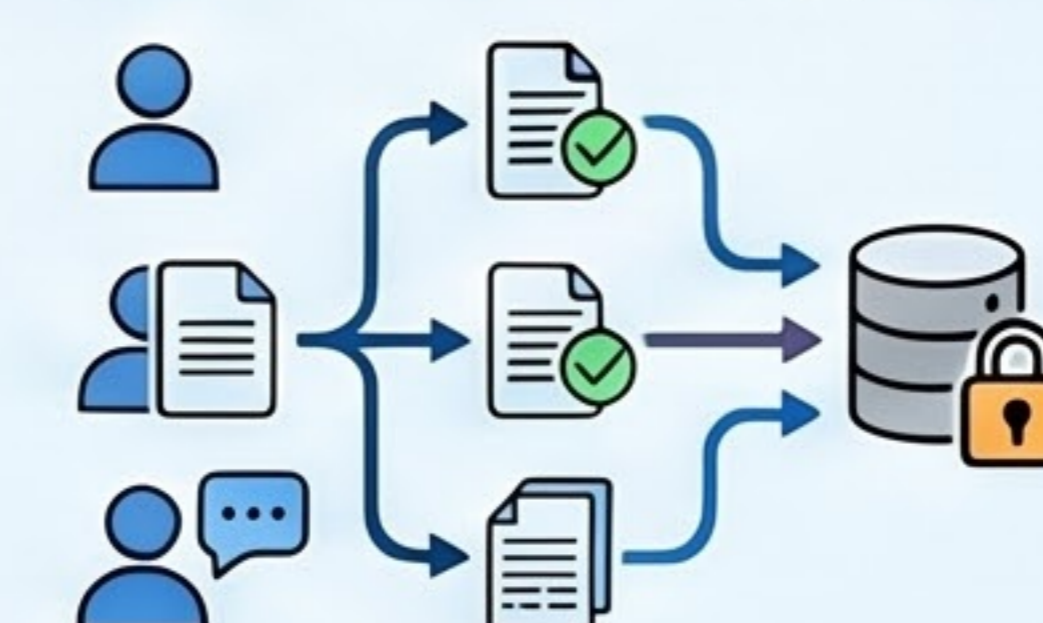


勝者は、データではなく「ルートを決める者」。仕事の承認ルールを制御するレイヤーが次の覇権を握る。

過去: ソフトウェアの囲い込み



現在: ワークフローの囲い込み



仕事の進め方そのものがベンダーに依存する、かつてない規模の囲い込みリスク。

企業が取べき回避策



自社ドキュメントとして保持

承認フローや権限定義をベンダーUIに任せ書き込まず、自社で管理する。



マルチモデル・オープンソース活用  
特定のベンダーへの過度な依存を防ぎ、柔軟性を確保する。